

防災リーダー養成講座実施報告

秦野市に想定される災害に関する知識やノウハウを座学と実習を通して学びます。

第1回～第4回 講師：美澤 綾子氏

第1回 7月8日 テーマ「地形—でっぱり、ひろがり、ずれ—」

猛暑の中、定員をオーバーした33名（中学生4名・高校生2名含む）が参加して下さいました。

【講義1】地形の基礎知識

主に河川がつくる地形の名称やできる仕組みなどを学んだ。

【実習1】秦野市の地形

アナグリフによる地形観察を行い、秦野市の地形の特徴をつかんだ。

【講義2】変形した地形

断層や撓曲（とうきょく）など、市内にみられる変動地形について学んだ。

【実習2】断層モデル実験

小麦粉とココアパウダーを用いて、逆断層形成のモデル実験を行った。

【講義3】 災害に関する（体系的な）基礎知識

防災に関する（体系的な）基礎知識



断層形成



【実習2】断層モデル実験



講座受講（沢山 質問があった）



断層モデル実験

第2回 8月5日 テーマ：「水—わく、ふる、ながれる—」

地域行事などで多忙にもかかわらず、60名（中学生4名・高校生2名・ボーイスカウト6名含む）の方が参加。前回と同様、講師の方は沢山の質問に休憩時間も返上して対応して下さいました。大好評でした。

【講義1】 気象の基礎知識

低気圧や台風、大気の安定性について、特徴や仕組みを学んだ。

【講義2】 風水害とその対策

台風や豪雨、土砂災害の起こり方とその対策について学んだ。

【実習1】 防災マップの読み取り

市が作成している洪水ハザードマップで、居住地の地域性を読み取った。

【実習2】 地図の重ね合わせ

5種類の地図から情報を収集し、災害に合いやすい場所と地形の関係を確認した。

【講義3】 災害に関する（体系的な）基礎知識 、防災に関する（体系的な）基礎知識



講義受講の様子



【実習1】 防災マップの読み取り：洪水ハザードマップで、居住地の地域性を読み取る



【実習2】 地図の重ね合わせ：5種類の地図から情報を収集し、災害に合いやすい場所と地形の関係を確認

第3回 9月2日 テーマ：「地質—たんざわ、はこね、ふじさん—」

市内で大きな行事が2つあったにも関わらず、57名（ガールスカウト8名含む）の方が参加。

定員は各回25名ですが、クチコミで参加者が、回を重ねるうちに増え、多くの方が参加して下さい、真剣に受講して下さいました。今回も大好評でした。

【実習1】地形の観察

陰影起伏図を用いて丹沢山地、箱根山、富士山周辺の地形を観察した。

【講義1】三つの山の形成史

丹沢山地、箱根山、富士山の成り立ちを学んだ。

【講義2】火山の基礎知識

火山噴出物や噴火の様式、火山の形、分布などを学んだ。

【講義3】富士山の噴火災害

富士山が噴火したときに起こると予想される災害について学んだ。

【実習2】富士山火山防災マップの読み取り

ハザードマップの読み方を学び、必要な対策を検討した。

【講義4】 災害に関する（体系的な）基礎知識 、防災に関する（体系的な）基礎知識



受付、資料配付をお手伝い



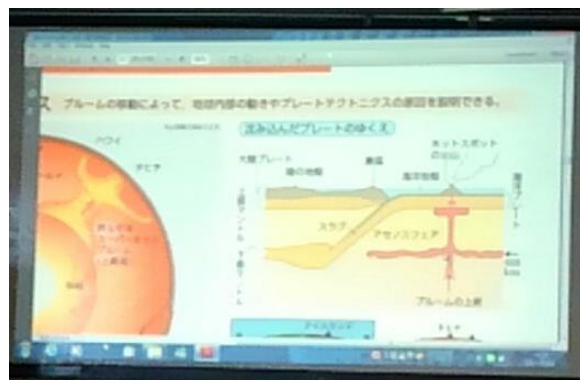
非常食つくり ビニール袋炊飯の様子



陰影起伏図を用いて丹沢山地、箱根山、富士山周辺の地形を観察



講義受講の様子



第4回 11月11日 テーマ：「地域 一まち、ひと、もの」

防災ロゲイニングの準備のため、前日、講師と渋沢駅周辺の防災に関するエレメント(設備や施設)を調査しコースづくりをした。防災ロゲイニングは、地域の中に存在する防災に関するエレメントを回ることにより、防災の視点で街を見る目を養い自分の街の特徴や 弱点を知ることが目的である。そのねらいを達成するためにコース設計は重要である。コースの設計上の注意点は、防災に関するエレメント、対象地域の選定、位置のバランスと配点、の3つである。参加者は46名

【講義1】 前回までの振り返り

地震、火山、気象など前回までの内容を振り返り、防災を考える導入にした。

【講義2】 防災ロゲイニングとは？

防災ロゲイニング※とは何かを学んだ。

※地域にある防災に関するエレメント(設備や施設)を制限時間内に数多く回り、獲得した点数を競うもの

【実習1】 班分け、役割分担

フィールドワークに向けて、3~5人の班を作り、アイスブレイクと役割分担をした。

【講義3】 競技説明

制限時間や得点の仕組みなど、防災ロゲイニングのルール説明を受けた。

【実習2】 防災ロゲイニング(=街歩き)

地図と写真表を持って、班ごとにエリア内にある危ないもの、防火や防災に関するもの、災害後に必要なものを探した。

【実習3】 情報の共有

40分間の街歩きで見てきたことを班の中で話し合い、さらに班長の発表により参加者全員で共有した。

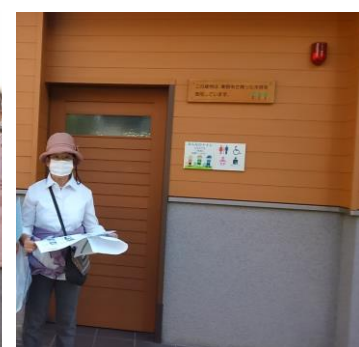
【講義4】 まとめ

競技で設定したエレメントについての解説を聞き、地域にある防災に関する設備や施設の理解を深めた



【講義1】 前回までの振り返り

【実習3】 情報の共有 班長の発表により参加者全員で共有



【実習2】 防災ロゲイニング(=街歩き) 地図と写真表を持って、班ごとにエリア内にある①危ないもの、②防火や防災に関するもの、③災害後に必要なものを探した。

第5回 12月 3日 テーマ：「防災 ーたすかる、まもる、たすけるー」

秦野市に想定される災害に関する知識やノウハウを座学と実習を通して学びました。参加者は53名。防災リーダー養成講座に於いて全過程を受講した12名、4回受講者11名、3回受講者25名に秦野市市長から修了証を交付していただきました。

【講義1】高橋昌和氏「防災リーダーに望むこと」

【講義2】秦野市防災課石原氏「秦野市の防災対策」

【実習1】秦野市防災課石原氏「西中学校の備蓄とマンホールトイレ、飲料水」視察

【講義3】石丸博司氏「地球温暖化と異常気象・自然災害の脅威」

【実習1】奥水幸平氏（温暖化防止機材を活用した節電・節約の説明）

- ・再生可能エネルギーの太陽光発電模型の展示と非常災害時の照明の確保
- ・分電盤の仕組みと節電・節約の豆知識と漏電・地震時の防災対策

【講義4】秦野市市長 古谷義幸氏 「地域の防災力を高めるために」

修了証交付 秦野市市長 古谷義幸氏 対象者48名
閉校式



市長 古谷義幸氏 「地域の防災力を高めるために」



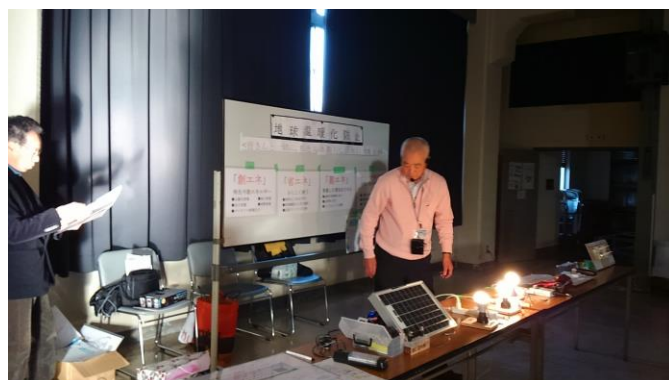
高橋昌和氏「防災リーダーに望むこと」



防災課石原氏「秦野市の防災対策」



「西中学校の備蓄とマンホールトイレ、飲料水」視察



奥水幸平氏（温暖化防止機材を活用した節電・節約の説明）



漏電・地震時の防災対策